

科目名	ホテル概論							
科目名(英)	Introduction to Hotel Basic							
単位数	2単位		時間数	32時間		担当者	小形 享平	
実施年度	2022年度		実施時期	前期		担当者実務経験	ホテル料飲部で8年勤務	
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年							
授業概要	ホテル業界を目指す上で欠かせないホテル業の基本を学ぶ。ホテル業の魅力は何なのか、お客様にとって良いホテルとは何なのか、また良いサービスとは何なのかをハード面とソフト面の両方で考える。また、ホテル実習に向けて日本を代表するホテルの名称とその特徴を学び、併せて日系ホテルと外資系ホテルの共通項や違いを学ぶ。							
授業形式	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
		○				シティホテルとリゾートホテルの違いを説明できる。		
		○				日本を代表するホテルの名称を正しく理解し、特徴を説明できる。		
		○				国内系のホテルと外資系のホテルの特徴やその違いを説明できる。		
		○				ホテルを構成する部署とその役割を説明できる。		
		○				ホテルの宿泊、料飲、宴会を中心とした各部署の業務内容を説明できる。		
テキスト・教材 参考図書	現代ホテル理論							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	ホテルの魅力とは、ホテルの種類について①					授業内容の復習をしておくこと	
	2	ホテルの魅力とは、ホテルの種類について②					授業内容の復習をしておくこと	
	3	主要ホテルとその歴史を学ぶ①					授業内容の復習をしておくこと	
	4	主要ホテルとその歴史を学ぶ②					授業内容の復習をしておくこと	
	5	日系ホテルについて学ぶ					授業内容の復習をしておくこと	
	6	外資系ホテルについて学ぶ					授業内容の復習をしておくこと	
	7	シティホテルについて学ぶ					授業内容の復習をしておくこと	
	8	リゾートホテルについて学ぶ					授業内容の復習をしておくこと	
	9	ホテルの組織体系について学ぶ①					授業内容の復習をしておくこと	
	10	ホテルの組織体系について学ぶ②					授業内容の復習をしておくこと	
	11	ホテルの商品(客室の種類や料金プラン)について学ぶ①					授業内容の復習をしておくこと	
	12	ホテルの商品(客室の種類や料金プラン)について学ぶ②					授業内容の復習をしておくこと	
	13	宿泊部門について学ぶ					授業内容の復習をしておくこと	
	14	料飲部門について学ぶ					授業内容の復習をしておくこと	
	15	宴会部門について学ぶ					授業内容の復習をしておくこと	
	16	授業総括、期末試験対策					期末試験への準備をしておくこと	
評価方法	(1)期末試験 (2)授業内での確認テスト 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S (90点以上)、A (80点以上)、B (70点以上)、C (60点以上)、D (59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	期末試験	◎	○				60%	
	確認テスト	◎	○				40%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。							

科目名	宿泊実務Ⅰ									
科目名(英)	Rooms Practical Service									
単位数	2単位		時間数		32時間		担当者		一岡 浩己	
実施年度	2022年度		実施時期		前期		担当者実務経験		外資系ホテル13年勤務	
対象学科・学年	ホテルリゾート科 1年									
授業概要	宿泊部門におけるベルスタッフ、ハウスキーピング(客室係)の実務を実技形式で学ぶ。 該部署の業務を理解しホテルの中での宿泊部門の役割を考える。 また、該部署の業務に必要な専門用語を学ぶ。									
授業形式	講義: △		演習: ○		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
			○			きれいな歩き方や方向の指し示しなど、ホテルで働く基礎となる動作を習得する。				
			○			客室案内業務(エスコート)を実践することができる。				
			○			デュベタイプのベッドメイクを行える。				
	○					ベルスタッフの業務について専門用語を交えて説明できる。				
テキスト・教材 参考図書	一般社団法人 日本ホテル教育センター 宿泊実務の基礎									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	授業内容の説明・業務特性・心得・基本動作・用語					教科書の範囲を読み不明なホテル用語を調べる。			
	2	フロントサービス業務① 内容:お出迎え・フロントへの案内・客室までの案内					範囲を説明し単語について調べる。			
	3	フロントサービス業務② 内容:入室・室内設備説明・退室・記録					範囲を説明し単語について調べる。			
	4	アテンド実技① 内容:お出迎えからフロントへの案内					実技内容のセリフを覚えてくること。			
	5	アテンド実技② 内容:客室への案内					実技内容のセリフを覚えてくること。 また、前回の動きについて復習しておくこと。			
	6	アテンド実技③ 内容:入室から客室整備説明					実技内容のセリフを覚えてくること。 また、前回の動きについて復習しておくこと。			
	7	アテンド実技④ 内容:退室から記録					実技内容のセリフを覚えてくること。 また、前回の動きについて復習しておくこと。			
	8	アテンド実技⑤ 内容:通し練習(実技試験対策)①					動きの練習			
	9	アテンド実技⑥ 内容:通し練習(実技試験対策)②					動きの練習			
	10	アテンド実技⑦ 内容:通し練習(実技試験対策)③					動きの練習			
	11	アテンド実技テスト								
	12	ドアマン業務について/団体客のIN/OUT業務					範囲を説明し単語について調べる。			
	13	ハウスキーピング業務					範囲を説明し単語について調べる。			
	14	ベッドメイキング実技① 内容:ベッドの名称・ベッドメイク実務					範囲を説明し単語について調べる。			
	15	確認テスト・解説					これまでの授業の復習を行うこと。			
	16	宿泊業務基礎まとめ					これまでの授業に対して、不明点やもう一度聞きたい点を考えてくる。			
評価方法	(1)授業の中で実技テスト1回実施する。(2)授業中の中で小テスト1回実施する。 (3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	実技試験		◎		◎			50%		
	定期試験		◎	○				40%		
	小テスト		◎	○				10%		
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。									

科目名	レストラン実務A						
科目名(英)	Restaurant practical operations A						
単位数	2単位		時間数	32時間		担当者	木村 匡志
実施年度	2022年度		実施時期	前期		担当者実務経験	外資系ホテルにて、 料飲部門スタッフとして勤務
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	ホテル業界で活躍する能力を身に付けるにあたり、ホテルにおける料飲部門にて必要な専門知識や技術を習得する必要がある。この授業では、料飲部門の中でも特にレストラン部門で必要な什器備品の名称やサービス方法についてを学ぶ。また、この授業の成果をホテル実習にて存分に発揮することができるよう、実践的な授業にて技術を磨く。						
授業形式	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				レストランで使用する什器備品の名称を覚え、正確に答えることができる。	
			○			レストラン部門で必要な専門技術の方法を覚え、正確に実践することができる。	
			○			レストラン部門で必要な専門技術を、他者の前で正確かつ迅速に実践することができる。	
テキスト・教材 参考図書	日本ホテル・レストランサービス技能協会監修 基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明、ホテルの料飲部門について				授業内容を復習しておくこと	
	2	レストラン部門の組織、業務の流れとオープン・クローズ業務				教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと	
	3	シルバーウェアの知識				教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと	
	4	チャイナウェアの知識				教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと	
	5	グラスウェアの知識				教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと	
	6	リネン類の知識、什器備品の取り扱い、シルバー・ガラスの磨き方				教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと	
	7	トレイサービス				教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと	
	8	お皿の持ち方、バッシング				教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと	
	9	テーブルセッティング				教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと	
	10	サーバーの使い方				教科書の該当範囲を事前に予習しておくこと	
	11	実技テスト練習				実技テストに向けて準備をしておくこと	
	12	実技テスト練習				実技テストに向けて準備をしておくこと	
	13	実技テスト				実技テストに向けて準備をしておくこと	
	14	実技テスト				実技テストに向けて準備をしておくこと	
	15	料飲部門での身だしなみや動作、接客用語、筆記テストについて				筆記テストに向けて準備をしておくこと	
	16	筆記テスト、授業総括				筆記テストに向けて準備をしておくこと	
評価方法	(1)授業内実技テスト(2)授業内筆記テスト(3)受講する上での持参物(実習服や教科書)及び意欲(出席回数)以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技テスト			◎			40%
	筆記テスト	○	◎				40%
	持参物 及び 意欲				◎		20%
履修上の注意	実技授業を受講する際は料飲実習服を着用すること。 授業欠課が6回以上になった場合は単位を与えない。						

科目名	ホテル英会話A							
科目名(英)	English conversation in hotels A							
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	佐藤 俊子 / 石志 正雄	
実施年度	2022年度		実施時期	前期		担当者実務経験	ホテルでの従業員 トレーニングを担当 / 外資系翻訳会社にて勤務	
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年							
授業概要	ホテルでのインターンシップに必要な基礎的なスピーキング力を養う。専門用語や決まり文句を学び、ロールプレイ形式で受け答えの練習をする。またナチュラルなスピードに慣れるため、フォロイング練習も重ねていく。							
授業形式	講義：△		演習：○		実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○					お客さまのお出迎えから部屋の案内までの英語表現を挙げることができる。		
	○					レストランとルームサービスの場面で使用する英語表現を挙げることができる。		
	○	○		○		場面に応じて、正しいフレーズや英文を選択し話することができる。		
テキスト・教材 参考図書	日本外国語専門学校 国際ホテル科 『ホテルのおもてなし英会話』(株)DHC(2017年)							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	ロビーサービス (お出迎え)					該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)	
	2	ロビーサービス(客室へのご案内)					該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)	
	3	ロビーサービス(客室設備のご案内)					該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)	
	4	ロビーサービス(クロークサービス)					該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)	
	5	フード&ビバレッジ(朝食・アフタヌーンティ)					該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)	
	6	フード&ビバレッジ(ディナーサービス)					該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)	
	7	フード&ビバレッジ(ルームサービス)					該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)	
	8	会話テストとレポート					前期に学んだ単語・フレーズを音読しながらノートに書いて復習する。(1時間)	
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
評価方法	(1)レポート提出1回 (2)会話テストを1回行う 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	レポート	◎	◎		○		50%	
	定期試験(口述)	◎	◎		○		50%	
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。 テキストを毎回持参する。忘れた場合は、授業前までに該当箇所のコピーを取っておくこと。							

科目名	英語検定(TOEIC)対策 I A				
科目名(英)	TOEIC Test Strategies I A				
単位数	3単位	時間数	48時間	担当者	石志 正雄
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	外資系翻訳企業にて勤務
対象学科・学年	ホテル・リゾート科1年				
授業概要	国際国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格であるTOEIC700点以上スコア取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。				
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
目標					
社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む)					
・自分の仕事に関連した日常業務のやりかたについての説明を理解できる。					
・次回ミーティングが、いつ、どこで行われるかについての説明を理解できる。					
社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く)					
・留守電のメッセージを聞き、相手の用件や電話番号等が聞き取れる。					
・入国管理官に、滞在場所、期間、旅の目的を英語で聞かれた時、質問が理解できる。					
テキスト・教材 参考図書	新TOEICテスト書き込みドリルボキャブラリー編、リスニング編、Basic Reading Strategies for the TOEIC TEST 他				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	レベル分けテスト			
	2	TOEIC学習目標と出題形式、解法のテクニック、Part5対策、ボキャブラリー、WORD FORM(品詞、派生語)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	3	Part5対策 ボキャブラリー、前置詞、リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	4	Part5対策 ボキャブラリー 接続詞 前置詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	5	Part5対策 ボキャブラリー 動詞、助動詞 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	6	Part5対策 ボキャブラリー 代名詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	7	Part5対策 ボキャブラリー 形容詞、副詞 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	8	Part5対策 ボキャブラリー 冠詞、序数			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	9	Part5対策 ボキャブラリー 比較級 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	10	Part5対策 ボキャブラリー 最上級			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	11	Part5対策 ボキャブラリー 形容詞、副詞、比較級、最上級 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	12	Part5対策 ボキャブラリー 不定詞、動名詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	13	Part5対策 ボキャブラリー 不定詞、動名詞 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	14	Part5対策 ボキャブラリー 不定詞、動名詞、分詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	15	Part5対策 ボキャブラリー 関係代名詞 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	16	Part5対策 ボキャブラリー 関係副詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	17	Part7対策 ボキャブラリー 文法(仮定法) リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	18	Part7対策 ボキャブラリー 文法(仮定法)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	19	Part7対策 ボキャブラリー 文法(話法) リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	20	Reading Part5対策 ボキャブラリー			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	21	Reading Part5対策 ボキャブラリー リスニングPart1, 2対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	22	Reading対策 ボキャブラリー Skimming Scanning			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。

	23	Reading Part5対策 リスニングPart1, 2対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。		
	24	期末テスト対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)TOEICを学期末に実施する。 評価方法は700点取得で100%、650点取得で95%、550点取得で90%とし以下も取得点数により評価に反映する。 (3)単語テストを20回実施し、評価とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC (IP) 試験	◎	○				30%
	単語テスト	◎	○		○		10%
履修上の注意	出席が16回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定(2級)対策 I A				
科目名(英)	EIKEN Test/TOEIC Test Strategies I A				
単位数	3単位	時間数	48時間	担当者	石志 正雄
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	外資系翻訳企業にて勤務
対象学科・学年	ホテル・リゾート科1年				
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
目標					
説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)					
社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、60語程度の英文を書くことができる。(書く)					
電話や対面の会話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)					
与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、短い文章を読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)					
テキスト・教材 参考図書	英検過去問題集、TOEIC L&Rテスト公式問題集				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	オリエンテーション			
	2	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	3	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	4	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	5	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	6	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	7	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	8	英検対策 大問2(長文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	9	英検対策 大問2(長文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	10	英検対策 大問3(長文の内容一致選択)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	11	英検対策 大問3(長文の内容一致選択)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	12	英検対策 大問4(ライティング)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	13	英検対策 大問4(ライティング)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	14	英検対策 大問4(ライティング)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	15	英検模擬試験			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	16	英検模擬試験			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	17	英検模擬試験			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	18	英検模擬試験			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	19	英検模擬試験			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	20	TOEICテスト概要説明 TOEIC Part5			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	21	英検本試験解説			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	22	英検本試験解説			予習、復習を行って授業に臨むこと。

	23	英検本試験解説	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	24	期末テスト対策	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点、割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が16回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定(準2級)対策 I A				
科目名(英)	EIKEN Test/TOEIC Test Strategies I A				
単位数	3単位	時間数	48時間	担当者	石志 正雄
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	外資系翻訳企業にて勤務
対象学科・学年	ホテル・リゾート科1年				
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定準2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
目標					
説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)					
社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、60語程度の英文を書くことができる。(書く)					
電話や対面の会話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)					
与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、短い文章を読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)					
テキスト・教材 参考図書	英語検定準2級過去問				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	オリエンテーション			
	2	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	3	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	4	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	5	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	6	英検対策 大問2(会話文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	7	英検対策 大問2(会話文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	8	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	9	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	10	英検対策 大問4(長文の内容一致選択)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	11	英検対策 大問4(長文の内容一致選択)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	12	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	13	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	14	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	15	英検模擬試験			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	16	英検模擬試験			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	17	英検模擬試験			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	18	英検模擬試験			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	19	英検模擬試験			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	20	TOEICテスト概要説明 TOEIC Part5			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	21	英検本試験解説			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	22	英検本試験解説			予習、復習を行って授業に臨むこと。

	23	英検本試験解説	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	24	期末テスト対策	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点、割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が16回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	English Conversation I A										
科目名(英)	English Conversation I A										
単位数	1単位		時間数		15時間		担当者		Jason Heliopoulos, Andrew Highcock, Eoghan Mac Coille, Laurel Pegler, Scott Anthony Newby		
実施年度	2022年度		実施時期		後期		担当者実務経験				
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年										
授業概要	1. Raise students' English proficiency 2. Give students more confidence in using English 3. Workplace related English skills										
授業形式	講義: △		演習: ○		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○					Raise students' English proficiency.					
	○	○				Give students more confidence in using English.					
	○					Workplace related English skills.					
テキスト・教材 参考図書	Speak Out Elementary Flexi Course Book1										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	Get to know your teacher					none				
	2	1.1 Nice to meet you					Preview lesson materials and review previous lesson				
	3	1.2 Travel Light					Preview lesson materials and review previous lesson				
	4	1.3 Can I Have a Coffee?					Preview lesson materials and review previous lesson				
	5	Teacher's Lesson or 1.4 Fawlty Towers (needs TV/DVD)					Preview lesson materials and review previous lesson				
	6	1.5 Lookback /teacher's lesson					Preview lesson materials and review previous lesson				
	7	2.1 Join Us					Preview lesson materials and review previous lesson				
	8	Speaking Test					Review previous lesson material				
評価方法	(1)TEST (2)CLASS(授業態度、参加の度合い、発表に対する積極性) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
						言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	TEST					○	◎				50%
	CLASS						○		◎		50%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位を与えない。										

科目名	ホスピタリティサービスA						
科目名(英)	Hospitality Service A						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	森永 久美子		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	これからホテル・リゾート科の学生として学ぶ上で必要なマナーと身嗜み、ヘアメイクを学ぶ。本授業で基礎を学び、学校生活の中で実践練習を積み、日常生活において活かしてもらう。ホテル業界の受験に必要な基本的な素質の定着も図る。						
授業形式	講義：○	演習：△	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					接客に使う敬語を使えるようになる	
			○			社会人として基本的なマナー(特に立ち居振る舞い)を実際に行動化出来る。	
			○			ホテルスタッフメイク・髪のセットが出来る。	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業説明・挨拶の仕方			授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)		
	2	第一印象について			授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)		
	3	接客練習(挨拶の仕方・お辞儀の仕方)			授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)		
	4	身だしなみについて①(ベースメイクの基礎・ネクタイ)			授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)		
	5	身だしなみについて②(アイシャドウ・口紅の選び方・整髪)			授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)		
	6	言葉遣い 尊敬語・謙譲語・丁寧語①			授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)		
	7	言葉遣い 尊敬語・謙譲語・丁寧語②			授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)		
	8	まとめ			授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)		
評価方法	(1)挨拶・お辞儀の実技試験を行う(チェック項目：第一印象・身嗜み・メイク・整髪・所作)(2)小テストもしくはレポート課題を行う(3)出席状況を意欲点として評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験			○			50%
	課題(小テスト・レポート)	○	○				30%
	意欲点				○		20%
履修上の注意	スーツで参加。髪型、メイクを美しく整えて授業に臨むこと。 出席が6回に満たない場合は、単位未取得となる。						

科目名	社会教養ⅠA						
科目名(英)	Social educationⅠA						
単位数	2単位	時間数	32時間	担当者	一岡 浩己		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	外資系ホテル13年勤務		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	ホテル見学や学外でのテーブルマナーに参加することによって、自身の目指す業界を肌で感じ、就職に対する意識を持つことを目的とする。また、ホテル実習の意義を十分に理解し、その準備を行っていく。就職活動前の準備として、作文課題にも取り組む為、その提出状況も成績評価に加味する。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		社会人として相応しい身だしなみでホテル見学や企業説明会に参加することができる。	
		○				ホテル見学でのレポートを作成し、期日までに提出することができる。	
		○				作文課題を完成させ、期日までに提出することができる。	
					○	ホテル実習の準備に積極的に取り組み、完了させることができる。	
テキスト・教材 参考図書	レポート用紙、作文原稿用紙						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	校舎見学、グループワーク					
	2	クラス役委員決め、クラス目標設定、レポート課題について				決定したクラス目標を各自実践していくこと	
	3	個人目標設定				決定した個人目標を各自実践していくこと	
	4	個人目標発表				決定した個人目標を各自実践していくこと	
	5	ホテル見学・buffet体験、レポート作成				ホテル実習の準備を進めること	
	6	ホテル実習の意義、実習内容説明、実習アンケート				ホテル実習の準備を進めること	
	7	実習用自己紹介シート作成①				自己紹介シートを担任に提出し、添削してもらうこと	
	8	実習用自己紹介シート作成②				自己紹介シートを担任に提出し、添削してもらうこと	
	9	実習用自己紹介シート作成③、ホテル実習用写真撮影				社会人として相応しい身だしなみを準備しておくこと	
	10	ホテル実習準備①、伝達事項				ホテル実習の準備を進めること	
	11	ホテル実習準備②、伝達事項				ホテル実習の準備を進めること	
	12	ホテル実習準備③、伝達事項				ホテル実習の準備を進めること	
	13	実習先ホテル調べ①(ホテル全体について)				ホテル実習の準備を進めること	
	14	実習先ホテル調べ②(ホテルの施設について)				ホテル実習の準備を進めること	
	15	実習先ホテル調べ③(周辺施設・観光案内について)				ホテル実習の準備を進めること	
	16	洋食テーブルマナー、レポート作成				テーブルマナー参加後、レポートを作成し提出すること	
評価方法	(1)ホテル見学やテーブルマナーに参加した際は、レポート課題を実施する。 (2)作文課題を実施する。(3)出席状況を意欲点として評価する。 成績評価基準は、合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート課題提出状況		◎				40%
	作文課題提出状況		◎				40%
	意欲点				○		20%
履修上の注意	ホテル実習準備の進捗状況によっては、授業回数が増える可能性があります。 検定やイベント等での日程調整により、授業実施項目に変更が出る場合もあります。						

科目名	GCB I				
科目名(英)	Global Citizen Basic I				
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	一岡 浩己
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	外資系ホテル13年勤務
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年				
授業概要	自らの責任において行動できる積極性や、良好な人間関係を構築できるコミュニケーションなど、社会で生き抜くうえでの“人間力”の根本は、自分の環境における感謝の気持ちにある。日常生活の中で「与えられることが普通」と思ってしまう“他者依存”から脱却し、周囲との協働を保ちつつ使命感を持って行動できる自立心を目指す。				
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他
				○	
	目標				
	自ら考える、気づく。積極的に参加(話し合い、発表)する。日常生活で実践する。				
テキスト・教材 参考図書	グローバルシティズンベーシック I 感謝心と思いやりの教育(学生用テキスト)				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	グローバルシティズンを目指そう			振り返りレポートの作成
	2	「協働」の態度を持った学生生活			振り返りレポートの作成
	3	よりより人間関係の構築に向けて～モラル・ルール・マナーの重要性～			振り返りレポートの作成
	4	マナーの本質 I			振り返りレポートの作成
	5	マナーの本質 II			振り返りレポートの作成
	6	グローバルシティズンとしての日常			振り返りレポートの作成
	7	グローバルシティズンとしての目標			振り返りレポートの作成
	8	グローバルシティズンとしての「志」に向けて			振り返りレポートの作成
評価方法	(1)レポートを8回実施する (2)最後の授業で発表する。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。				
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲
	レポート作成・発表				◎
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位未取得となる。				

科目名	総合日本語A										
科目名(英)	General Japanese A										
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	秋本 佐代子				
実施年度	2022年度		実施時期	前期		担当者実務経験					
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年										
授業概要	仕事場で必要となる語句を覚え、自然に会話の中で使えるよう音読練習、また正確に漢字が書けるように筆記練習をしていく。またホテルインターンシップに向けて、報告・連絡・相談で使う日本語を学び、正確に聞き取りタスクを実行できることを目指す。										
授業形式	講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○					専門用語と慣用表現の意味を説明することができる。					
	○					専門用語と慣用表現の漢字を正確に書くことができる。					
	○	○				日本語を指示を聞き取り、メモを取ることができる。					
	○	○				書き取ったメモを基に、正確に報告することができる。					
テキスト・教材 参考図書	参考：公益財団法人 実務技能検定協会 『サービス接客検定公式テキスト3級』 早稲田教育出版(2019)										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	ホテル用語					学んだ用語を音読しながらノートに書いて覚える。(0.5時間)				
	2	商業用語					学んだ用語を音読し、漢字の形や読み方に気を付けながらノートに書いて覚える。(1時間)				
	3	経済用語					学んだ用語を音読し、漢字の形や読み方に気を付けながらノートに書いて覚える。(1時間)				
	4	慣用表現					学んだ用語を音読し、漢字の形や読み方に気を付けながらノートに書いて覚える。(1時間)				
	5	連絡・相談の日本語					学んだ語句を音読し、漢字の形や読み方に気を付けながらノートに書いて覚える。(1時間)				
	6	メモを取る・メモを書く					学んだ語句を音読し、漢字の形や読み方に気を付けながらノートに書いて覚える。(1時間)				
	7	報告書を書く					報告書をもう一度自分で一から仕上げる。(1時間)				
	8	筆記テスト					テストで間違えたところをもう一度ノートに音読しながら書いて覚えなおす。(1時間)				
	9										
	10										
	11										
	12										
	13										
	14										
	15										
評価方法	(1)授業の中で筆記テストを1回実施する (2)定期試験(筆記)を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合				
	定期試験(筆記)	◎	◎				50%				
	レポート	◎	◎		○		50%				
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。 渡したプリントはきちんとファイリングしていくこと。										

科目名	ホテル実習						
科目名(英)	Hotel internship						
単位数	5単位	時間数	200時間	担当者	一岡 浩己		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	外資系ホテル13年勤務		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	ホテルにおける約2か月の就業体験を通して、実践的スキルを習得し、業界で即戦力として活躍できる力を身に付ける。また、社会に出て様々な人と関わり合うことで、社会性や礼儀を身に付けることを目的とする。						
授業形式	講義:		演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				ホテルでの接客時に用いる敬語や言い回しを覚え、実際にお客様と会話することができる。	
	○	○				業界用語について学び、実習中にそれらを用いてスタッフとコミュニケーションを取ることができる。	
				○		就業規則を遵守し、社会人として適切な行動を取ることができる。	
		○				個人情報や社外秘の取り扱いについて理解し、各ホテルの規則に従い業務ができる。	
			○			配属先の業務を覚え必要な技術を身に付けることによって、お客様に接客することができる。	
テキスト・教材 参考図書	実習ノート、各ホテルの業務マニュアル						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	各ホテルでの実習					
評価方法	(1)実習ノートの作成と進捗状況の記入 (2)実習での勤務状況 (3)実習終了時の評価表 (4)ホテル実習レポートの提出 (5)ホテル実習報告会でのクオリティ 成績評価基準は、合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実習ノート・勤務状況・評価表	○	○	○	○		50%
	実習レポート・報告会	○	○	○	○		50%
履修上の注意	ホテル実習レポートを提出していない場合はD評価(単位未取得)となる。						